

かんきょう観察会報告 171 号

活動グループ名：板橋区の蝶を調査する会

観察日時 2024年11月30日（土） 午前10時30分～午後12時45分

観察地域 赤塚公園番場地区～沖山地区～向口公園周辺 昼食忘年会

参加者 梅田、加地、神山、川口、児嶋、小林、長澤、宮崎、山田、米澤(10名)

ランチ忘年会参加者（浅原、荘司、山下含む12名）

当日の天気 快晴

観察結果

アゲハチョウ科

①ジャコウアゲハ（幼虫・蛹）

シロチョウ科

①キタキチョウ

②モンシロチョウ

タテハチョウ科

①アカボシゴマダラ幼虫

②クロコノマチョウ♀

シジミチョウ科

①ウラギンシジミ

②ウラナミシジミ

③クロマダラソテツシジミ♀

④ムラサキツバメ♂♀

⑤ヤマトシジミ

観察概要：

午前10時半過ぎに赤塚公園番場地区で冬に生息している蝶を探し始めました。天気は快晴で風もなく、気温は15℃ほどでした。番場地区ではマテバシイの木がたくさん繁っており、今年も11月中旬以降もムラサキツバメの生息を確認しています。3年前までは、ムラサキツバメがマテバシイの葉で集団越冬しているのを確認していました。しかし、番場地区では昨年引き続き集団の越冬が見られませんでした。ただし、複数のムラサキツバメがマテバシイの樹上を飛翔していました。

この近くには、ジャコウアゲハの生息場所があります。ウマノズグサの葉はまだ青々としていました。例年では、10月中旬頃には葉や茎は無くなっていたのですが、暖かい日が続いているせいでしょうか、今年は終齢幼虫が5頭・蛹が1頭確認できました。11月末まで幼虫がいるのは初めてです。地球温暖化の影響でしょうか？とにかく、無事に蛹になってほしいものです。また、マテバシイの樹上でウラギンシジミが飛んでいました。

ここから、沖山地区に移動することにしました。

11時10分、沖山地区に着きました。昨年は、シュロの葉の所でムラサキツバメの集団越冬を確認していましたが、今年も、同じシュロに付いていました。数は15頭位でしょうか。また、周辺でもムラサキツバメが飛び回っていました。

他の蝶を見つけようということになり、周辺の観察を始めました。南側の斜面周辺でキタキチョウ・ウラナミシジミ・ヤマトシジミが確認できました。斜面周辺では温かいせいでしょうか、気温も18℃位になっていました。高速道路側の北側斜面に行くとニンソウの花がもう咲いていました。まだこれから本格的な冬がやってくる前に咲くとは気温が狂っているせいでしょうか？斜面を南側に移動し沖口公園に着きました。アカボシゴマダラの越冬する幼虫が観察できました。南側斜面下

では成虫越冬するクロコノマチョウ♀が昨年と同様に観察できました。道路沿いのマテバシイの樹上ではムラサキツバネやウラギンシジミが飛んでいました。

今回はここから南側にある向口公園に行きました。12時に到着すると、モンシロチョウ・ウラナミシジミ・ヤマトシジミがいました。モンシロチョウが12月になろうというこの時期に観察できたのもこの冬の暖かさのせいでしょうか？ここから沖山地区に戻る途中でクロマダラソテツシジミ♀を見つけました。まだ元気に飛んでいて、日光浴を楽しんでいるようです。

12時半を過ぎ、昼食忘年会の会場へと向かい、今日の観察は終了としました。

今日は、暖かかったせいでしょうか、ムラサキツバメの集団を含む10種の蝶が観察出来ました。

(2024年11月30日観察会写真)



ジャコウアゲハ終齢幼虫



ジャコウアゲハ蛹



キタキチョウ



アカボシゴマダラの幼虫



クロコノマチョウ♀



ウラナミシジミ



クロマダラソテツシジミ♀表



クロマダラソテツシジミ♀裏



ムラサキツバメ♀



ムラサキツバメ越冬集団



ヤマトシジミ



ナナホシテントウ



ニリンソウの花